

## ☆☆ 人間ドックのオプションでHIV検査を受けましょう。

年々日本でもHIV感染者やエイズ患者(HIV感染から発症した人)が増えています。早期発見早期治療開始によりHIV患者の寿命は一般人の平均寿命に近づきつつあります。疑心暗鬼でいるより、オプションでHIV検査申し込み下さい。ブライダルチェック、夫婦関係のリセット等にもご利用下さい。

HIV検査：この検査はHIV(エイズウイルス)の抗体スクリーニングです。他のオプション検査(消化器癌の早期発見のためのマイクロアレイ血液検査、前立腺癌の早期発見のためのPSA血液検査)同様申し込み用紙の該当欄に○を付けて受診当日に提出下さい。

わずかに採血量が増える以外に、こちらから質問する等の精神的負担増はありません。

結果は、その日に出て陰性の場合には診察医からは何も伝えませんが、従来の結果表以外にHIV検査陰性と記載した用紙もお渡し致します。保留という結果の場合は当日別に機会を設けて説明します。感染の機会から3ヶ月以上経過しての採血が陰性なら大丈夫です。検査結果が保留という返事の場合には偽陽性(約0.2%)とHIV感染の可能性があります。どちらなのかを確定するために再度採血を受ける必要があります。ここからは保険を使うか自費にするかは患者様との相談となります。

### 上記以外にHIV感染を調べる方法

(基本的に上記同様スクリーニング検査から開始します)

①インターネットを利用：インターネットで申し込むとキットが郵送されてきて自分で指先を刺して血液を絞り出してキットに塗って返送、結果をネットで見る方法です。スクリーニング検査だけですが、費用は5000円程です。判定保留の場合は当院にもおられましたが、一般的にはエイズ拠点病院に紹介されそこで確定検査をするという仕組みのようです。郵送という点では完全には匿名とは言い難いと思います。

②保健所で：保健所では完全匿名、無料ですが、通常電話予約が必要で、感染経路についてのアンケートと、結果が陰性の場合でもセーフセックスの指導があるようです。陰性でない場合、即日検査の場合は当日に、即日検査でない場合は予約した日に再度確定のための採血が行われます。

③病院で保険を使って：病院で保険を使って検査をする場合は、当然その病気を疑う理由が必要であり医療スタッフから感染経路についての質問があります。自費診療で5000円～10000円くらいとされており、保険を使っても診察料などを考えると上記ドックよりかなり高額となります。